

News Release

2011年2月17日

「日本、中国、米国の貯蓄に対する意識調査」

日本人の8割が目的なく念のために貯蓄、 4割は人生設計を考えたことがない ～3ヵ国比較調査により、貯蓄に対する意識の違いが明らかに～

株式会社東京スター銀行(東京都港区、代表執行役頭取 CEO ロバート・エム・ベラーディ)は、日本・中国・米国^{*1}在住の20～40代のビジネスパーソン900人(各国300人)を対象に、『貯蓄に対する意識調査』(インターネット調査)を実施しました。

調査の結果、日本人の8割が「特に明確な目的や使用用途がなく念のために貯蓄」、4割が「人生設計(ライフプラン^{*2})を持っていない」と回答している一方で、中国人は9割以上が将来の人生設計を持ち、その実現のために貯蓄や投資を積極的に行っていると回答しています。

また、「定期的に貯蓄している」と答えた割合は日本が一番低く4割程度なのに対して、米国では7割近くに達し、さらに米国人の8割近くが、貯蓄のために「欲しいものがあったとしても我慢している」、「生活を切り詰めるなどの努力をしている」と回答するなど、「貯蓄好きの日本人、消費好きの米国人」というイメージを覆す結果となりました。

<各国の貯蓄像>

- ◎具体的な貯蓄目的や人生設計もなく、将来への希望も持てない「日本人」
- ◎具体的な人生設計を持ち、その実現のために貯蓄や投資に励む「中国人」
- ◎生活を切り詰めてまでも、定期的に貯蓄を行う堅実な「米国人」

また、日本人の9割以上が将来のお金についての不安を感じており、自分の将来が今より良くなると答えた人も3割と、同数値が7～8割を超えている米国、中国と比べ、日本人は将来に対して非常に悲観的であることもわかりました。

具体的な人生設計を立て、貯蓄目的を明確にすることで、日本人も現在の不安感を和らげ将来に対する希望を持てるようになるのではないのでしょうか。

東京スター銀行では、お客さまをお金の心配から解放し、目標や夢を実現するお手伝いをしています。

^{*1} 日本は東京、中国は上海、米国はニューヨークの各都市で調査を実施。

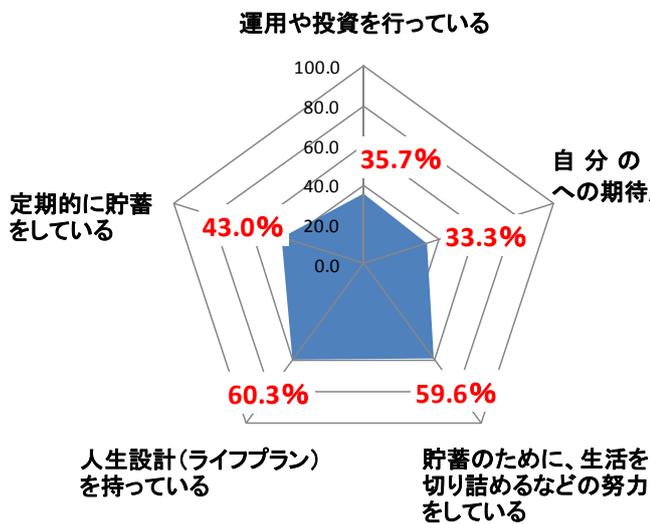
^{*2} 人生設計(ライフプラン): 自分の将来の目標や希望、夢を明確にし、その実現に必要な資金計画を立てること。

調査結果概要

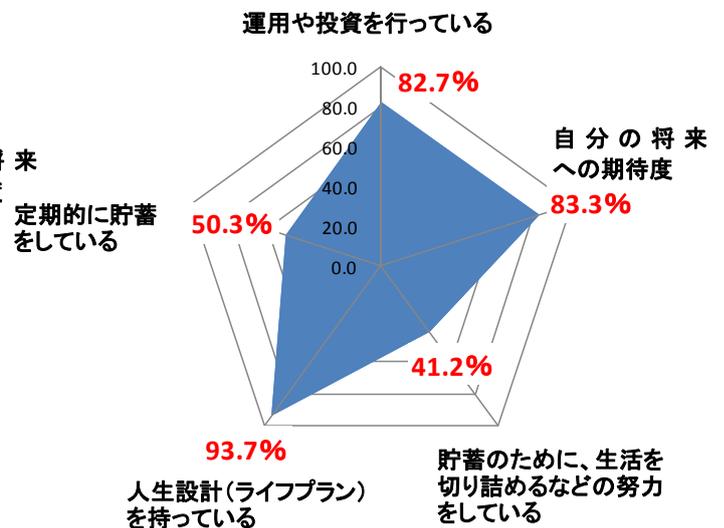
＜各国の貯蓄像＞

- ◎具体的な貯蓄目的や人生設計もなく、将来への希望もない「日本人」
- ◎具体的な人生設計を持ち、その実現のために貯蓄や投資に励む「中国人」
- ◎生活を切り詰めてまでも、定期的に貯蓄を行う堅実な「米国人」

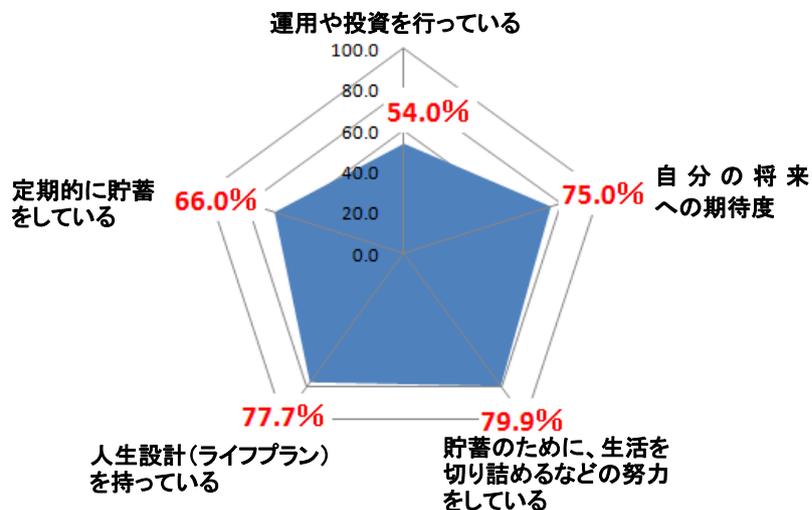
【日本】



【中国】

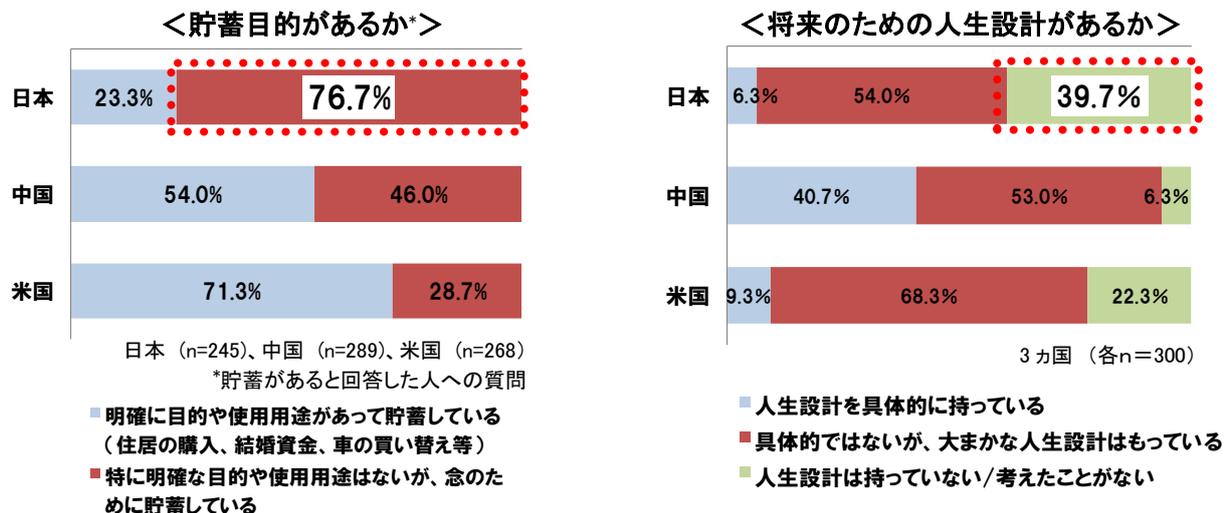


【米国】



貯蓄に対する意識

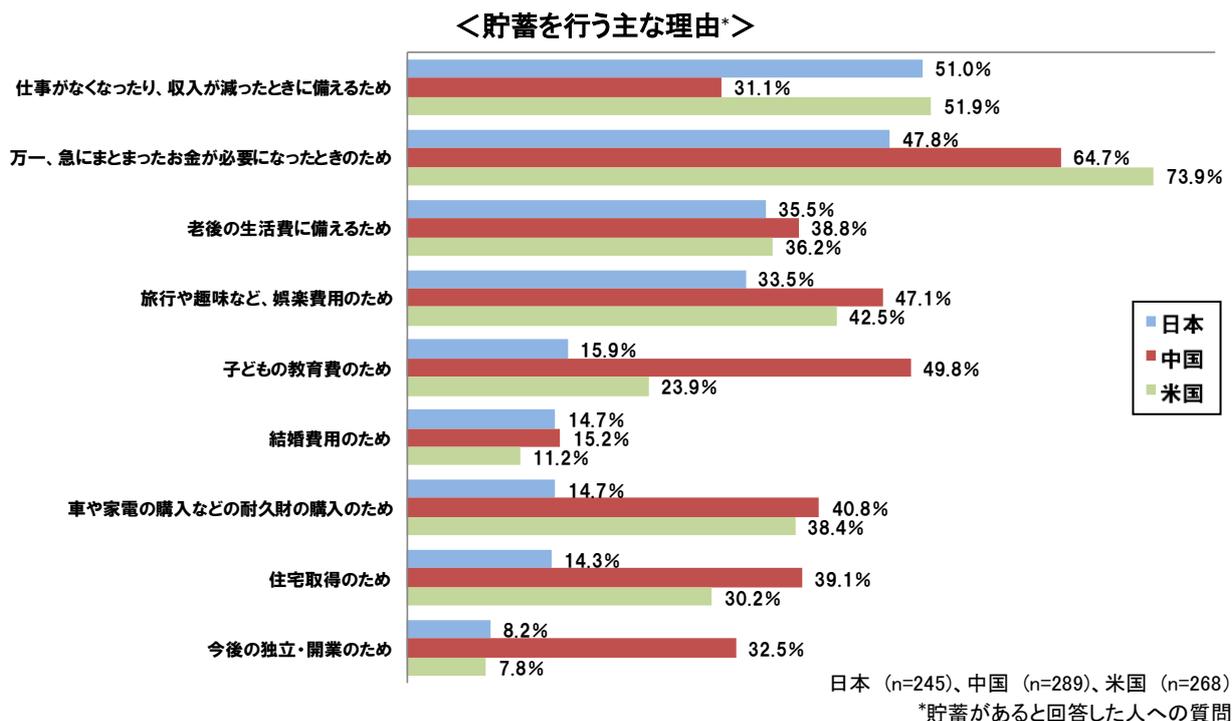
日本人の 8 割が目的なく貯蓄しており、4 割は具体的な人生設計を持っていません。一方、中国人の約半数、米国人では 7 割以上が明確な目的を持って貯蓄していると答えるなど、日本人の貯蓄に対する意識の低さが明らかになりました。



また、貯蓄を行う理由をきいたところ、日本人は「仕事がなくなったり、収入が減った時に備えるため」、「万が一のため」、「老後の生活費に備えるため」などが上位に上がりました。

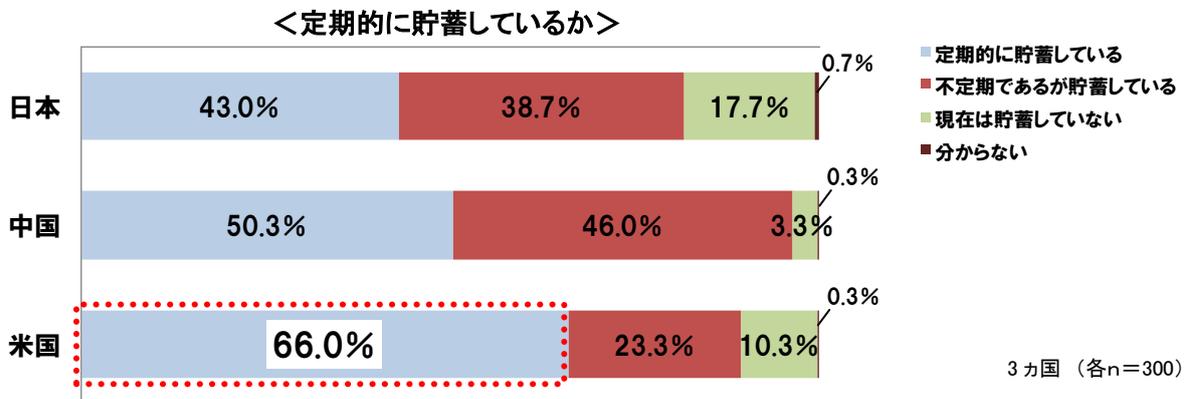
中国人は「万が一のため」に次いで「子どもの教育費のため」、「旅行や趣味などの娯楽費用のため」、「車や家電の購入など耐久財の購入のため」など、積極的な消費行動が窺われました。

米国人は「万が一のため」、「仕事がなくなったり、収入が減った時に備えるため」が上位に上がるなど、昨今の雇用不安などの影響も見られるようです。

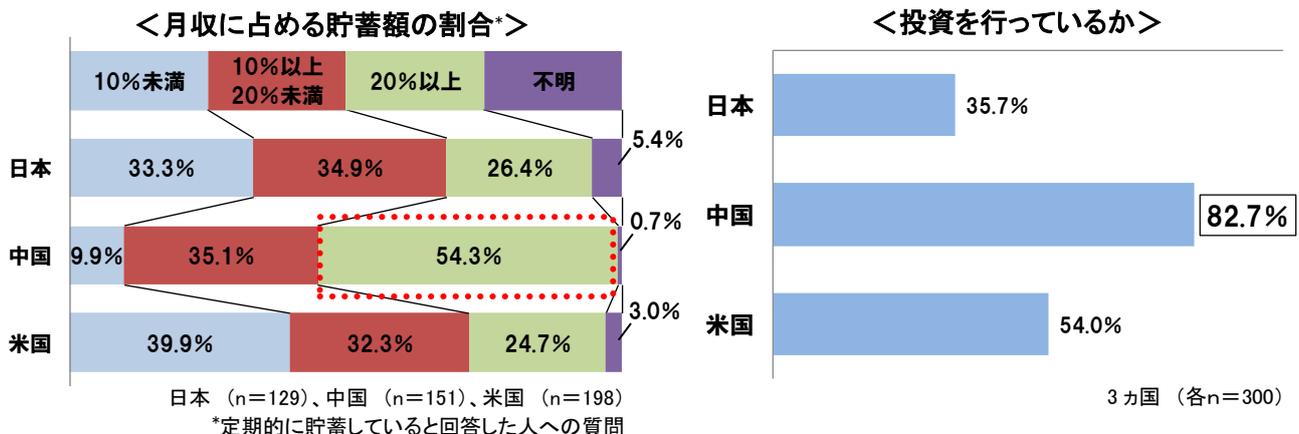


貯蓄や投資の実態

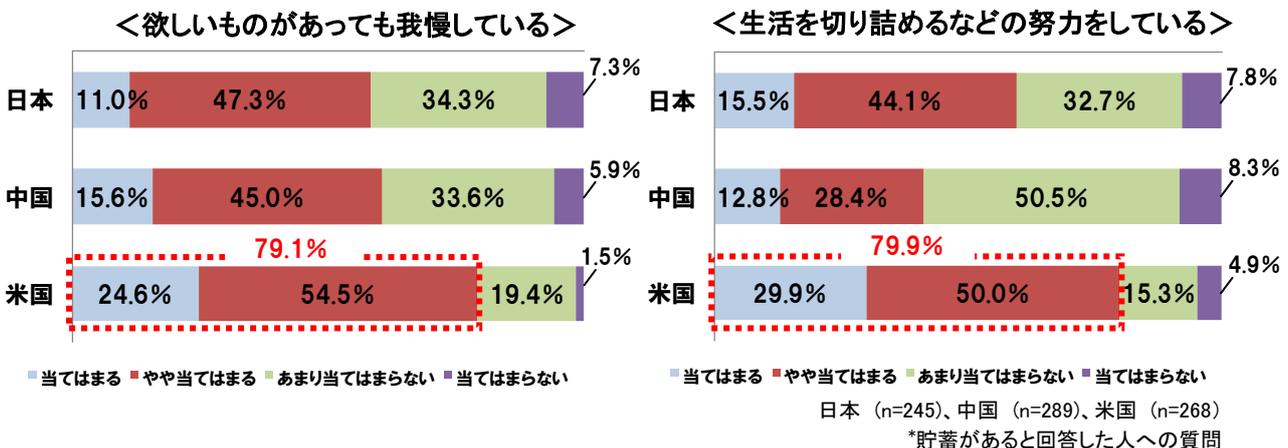
「定期的に貯蓄している」と答えた割合は日本が一番低く4割程度なのに対して、米国では7割近くに達し、「貯蓄好きの日本人、消費好きの米国人」というイメージを覆す結果となりました。



中国人は定期的に貯蓄をしている人の半数以上が、月収の2割以上の額を貯蓄しています。また、全体の8割以上が投資を行っているなど経済成長が著しい中国では、人々がより積極的に貯蓄や投資に励んでいる姿が浮き彫りになりました。米国人も2人に1人が投資を行っており、日本人に比べて依然として投資意欲が旺盛なようです。



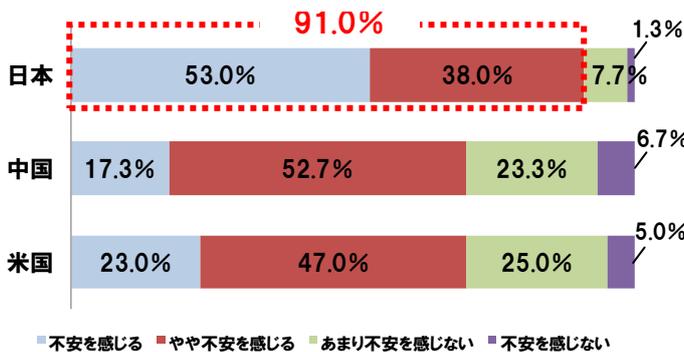
さらに、米国人の8割近くが貯蓄のために「欲しいものがあったても我慢している」、「生活を切り詰めるなどの努力をしている」と回答するなど、リーマンショック後の経済情勢を反映し、生活を切り詰めて定期的に貯蓄を行う米国人の堅実な姿が明らかになりました。



将来への展望

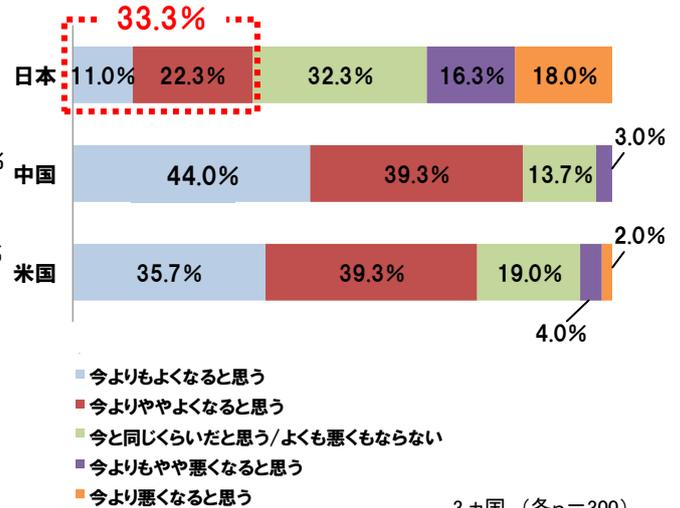
日本人の 9 割以上が将来のお金についての不安を感じており、自分の将来が「今より良くなると思う」、「今よりややよくなると思う」と答えた人の合計も 3 割と、同数値が 7~8 割を超えている米国、中国と比べて将来に対して非常に悲観的であることがわかりました。

< 将来のお金に対する不安感 >



3 カ国 (各n=300)

< 自分の将来への期待度 >



3 カ国 (各n=300)

調査概要

- ◆ 調査名 : 貯蓄に関する意識調査
- ◆ 調査対象 : 東京、上海、ニューヨーク在住の 20~40 代の男女ビジネスパーソン
- ◆ 有効回答数 : 900 サンプル
日本(東京): 300 サンプル、中国(上海): 300 サンプル、
米国(ニューヨーク): 300 サンプル
- ◆ 調査方法 : インターネットリサーチ
- ◆ 調査時期 : 2011 年 1 月
- ◆ 調査主体 : 株式会社東京スター銀行
- ◆ 調査実施機関 : 株式会社マクロミル
- ◆ 備考 : 本リリース文章は調査実施機関から提供された調査データを当行が編集したものです。

株式会社東京スター銀行 (<http://www.tokyostarbank.co.jp/>)

2001 年 6 月創業。「ファイナンシャル・フリーダム(=お客さまをお金の心配から解放する)」を企業理念に、お客さまが金融に関するあらゆる問題を気軽に相談することができる店舗(ファイナンシャル・ラウンジ)を展開しています。従来のようなコンサルティングサービスとは異なり、一方的に銀行側がご説明するのではなく、目標達成へ向けて、お客さまと共に資産運用についての解決策を見出していく手法を取っております。

法人部門も、ノンリコースローンや売掛債権担保融資、事業の証券化など、新しい金融手法で中堅中小企業のお客さまを支援しています。

コラム:「日本、中国、米国の貯蓄に対する意識調査」より

「お金の管理方法編」http://library.tokyostarbank.co.jp/topics/jpy_20110217_1/

「お金と価値観編」http://library.tokyostarbank.co.jp/topics/jpy_20110217_2/

番外編 ~「夢」に国境ナシ~ http://library.tokyostarbank.co.jp/topics/jpy_20110217_3/